

## 第10回かながわ教育学講座

令和3年12月19日、第10回かながわ教育学講座を開講しました。

「学校における人権」をテーマとした今回の講座では、認定NPO法人エンパワメントかながわ 理事長 阿部 真紀(あべ まき)先生による講義を受けた後、その学びをいかしたグループ活動を行いました。

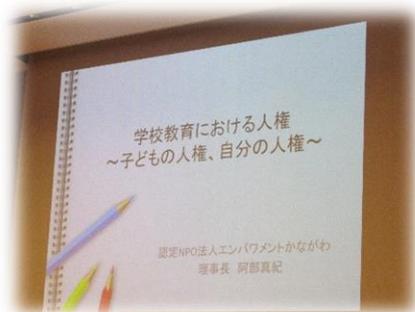
### 講義「学校教育における人権」

講義「学校教育における人権」では、子どもの人権を守るために教師として身に付けておくべき「人権感覚」や、「子どもの人権を守ること」について、話がありました。受講者同士での意見交換をする場面では、受講生は身近にある対等でないもの(例えば人間関係や言葉)について話し合いました。その中で、「そんな考え方もあるんだ!」と、互いの感じ方や考え方の違いを知ることで、一人ひとりが人権感覚を磨くとともに、人権とは「すべての人は対等である。」「一人ひとりが違っていい。」ということを改めて学びました。

「子どもの人権を守ること」は、「子どもの心の声を聞き続けその思いを受け止め認めること」であり、そうした姿で子どもと接していくことが「子どもの人権を守ること」において大切であると学びました。

### グループ活動

グループ活動では「子どもの人権を守る」ために、教員として心掛けることについて話し合いました。受講者同士で積極的に議論を重ねる中で、子どもの人権が尊重されていない場面が様々なところで起きていることに気付く姿が見られました。こうした気づきを重ねる中で、受講者からは多くの改善策が提案されており、「子どもの人権を守る」ことについて、熱く語り合う協議ができました。まとめでは「セルフエスティーム(自尊感情)」「コミュニケーション力」「アサーティブネス(非攻撃的自己主張)」が人権意識を育む3つのキーワードだとして、グループ担当者から人権を守ることへの熱い思いを受け取った受講者は、教職への思いをさらに高めた様子でした。



### 受講者の感想

○児童から相談を受けた時に、まずは「相談してくれて有難う。」という気持ちを示すことが大切だということが分かりました。

○今回の講義を通して、人権を守る観点から、誰にも傷つけられて良いわけがないこと。また、その観点に基づいて指導していく一つの指標のようなものを自分の中で得ることができたと感じている。毎回のことから、教師として指導していくために必要な力を学び得ていると感じられる講義だった。